



4月5日

発行

作新学院大学
作新学院大学女子短期大学部〒321-3295 栃木県
宇都宮市竹下町908
電話 028-667-7111
FAX 028-667-7110

編集兼発行人 橋立 達夫

編集 集

作新PRIDEプロジェクトチーム

お電話相談窓口はこちら

大学・短大 TEL028-670-

総務課(総務関係・施設貸出)	3600
会計課(学納金・経費支払等)	3621
施設課(建物・施設管理)	3631
入試・広報課(受験相談・資料請求)	3655
教務課(定期試験・各種証明書発行)	3642
学生課(奨学金・学生生活相談)	3641
キャリア・就職支援課(求人募集・就職支援)	3645
図書課(図書等の所蔵・貸出し)	3652
学務支援室(学内ネットワーク・情報機器の管理)	3616
地域連携支援センター(大学付属研究所)	3614

HEADLINE

新入生のみさんへ 学長挨拶・・・(1頁)
 作大・作短広報新聞『燦』創刊一周年に寄せて・・・(1頁)
 女子バドミントン部本格始動！・・・(1頁)
 (大学・学生会に残る思い出に・・・(2頁)
 (短大・校友会 素敵な保身者になれるように・・・(2頁)
 クイズ「これ、知ってっか?」・・・(2頁)
 イベントスケジュール4・5月・・・(2頁)
 編集後記・・・(2頁)

ホームページ
アドレス

http://www.sakushin-u.ac.jp/

新入生の皆さん、

ご入学おめでとうございます

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 学長 太田 周



作新学院大学、作新学院大学女子短期大学部に入学した新入生のみさん、入学おめでとうございます。そして新入生の保護者の皆様には、心よりお祝いを申し上げます。作新学院大学に入学した皆さんは、これからの

4年間の学びの中で人格に磨きをかけ、新しい時代を支える社会人としての資質を身につけてください。学生生活の中で、時には自分に足りない所や社会の中での自分の立ち位置を見つめ直して、社会の発展に貢献できる人

間へと一歩ずつ成長して行つてほしいと思います。作新学院大学女子短期大学部に入学した皆さんは、これからの2年間の学びの中で、幼児教育者としての知識や技術を身につけてください。教室授業や現場での実習を通

して、子どもたちを深く愛する心を育んでください。自分がどのような幼児教育者になるのかを考えながら勉学に励んでほしいと思います。

そして保護者の皆様にも、本学がめざす人間教育を共につくり上げて行くために、ぜひお力添えを賜りたいと考えています。21世紀の大学や短大の教育は、保護者の皆様の支持なくして成り立つものではないと思います。そこで私たちは、ホームページや広報紙等を通して、本学の教育の実践に関する情報を地域社会はもとより、保護者の皆様にもお届けできるよう力を注いでまいります。保護者として、本学にお寄せいただければ幸いです。それは、地域と共に歩む本学の大きな成長につながるのだと私たちは考えています。

作大・作短広報新聞「燦KIRARI」

創刊、一周年に寄せて

学校法人船田教育会 理事長 船田 元



このように私たちの活動を、これから多くの皆さんに知っていただきたく、『燦』の発行に励んで参

ります。これからも是非ご愛読ください。

この度、作新学院大学並びに女子短期大学部の広報誌『燦』がお陰様で創刊一周年を迎えました。大学・短大の出来たての情報をもっと多くの人々にお伝えする役割を、少しずつ果たしはじめていることを、大変嬉しく思います。

私たちはこれまで、ケースメソッドを活用した実践的なビジネススクールへの改組、小学校や特別支援学校の教員免許取得も可能とする教職課程の充実、そしてこの4月からはスポーツマネジメント学科を開設し

て、地元のプロスポーツチームとの連携や地域スポーツの振興というユニークなテーマに取り組むこととなりました。まさに「作新民」という建学の精神を踏まえて、大学そのものも常に新しくなるうとしております。



今年度より創部された「女子バドミントン部」です。強化部としてスタートを切った私たちですが、ほとんどの事を新1年生の私たちが主体となり行っていくということで、何もかもが初めての経験で…。正直、不安はたくさんあります。でも、全国から集まった仲間たちと協力しながら、一つ一つの事に頑張っていきたいと思っています。今年度の目標としては、一年目の今年から全力でいきます！関東学生バドミントン連盟に所属し、全関東加盟校数103校のうちの一番下(関東リ

グ6部)からのスタートとなりますが、少しでも早く上位のリーグに上がりたい、早く有名校と対戦してみたいなど気持ちは常に全国に向いています。8月に東日本学生選手権が行われ、その団体戦で勝ち進んだ上位8校だけが全国大学選手権に出場することが出来ます。昨年度上位8校は早稲田、明治、法政、筑波、日体専修、青学、日大とやはり強豪校が名を連ねますが、早くそこに作新学院大学の名が加わることができるよう、今年から全力で勝負していきます。

全国制覇めざし
本格始動！

女子バドミントン部

心に残る思い出にしてみたい

大学学生会 会長
人間文化学部3年
阿部 素子



大学

今年度、学生会会長を務めさせていだきます、人間文化学部3年の阿部素子です。1年生から学生会に所属し本学で行われる行事やイベントの企画に携わってきました。役員全員が一丸となって協力し合い、ひとつのことをやり遂げるという達成感を、サークル活動を通して感じる事ができました。これまでのサークル活動を通して学んだ様々なことを糧とし、気持ちを新たに、1年間全力で取り組んで行きたいと思ひます。学生のみならず、大学生活をより良いものにしてみたい。自分たちの大学生活はとも充実していた、楽しかった、そんな風に心に深く残る思い出にしてみたい、その手助けを私たち学生会はして行きたいと考えています。



今までよりも行事やイベントでの学生参加率を向上させ、より多くの学生に関わってもらいたいです。そして多くの学生が作新学院大学で最高の思い出を作れるよう、これからも学生会は奮闘して行きたいと思ひます。



素敵な保育者になれるように

女子短期大学部学生会 会長
幼児教育科2年
永田 真結



短大

作新短大幼児教育科は、元気がいっぱい、一人でひとりが夢に向かって努力を重ねています。学外オリエンテーション、スポーツ大会、七夕祭り、グループワークキャンプ、ハロウィンパーティー、作新祭、クリスマス会といった数多くの行事があり、それらは学生団体である学生会が中心となつて企画、運営をしています。より良いものにして、協力して行われる行事は、学生自らが考え出したものだからこそ、楽しんで面白さが詰まっています。全員がキラキラとした笑顔で参加しています。



行事を積み重ねる度に友人との思い出は増え、絆も深まります。また、企画、運営をすることによって協調性や発言力が身に付けることが出来ます。このようにして、学生が主体となつて活動することによって、保育者となつた時に必要とされる力も養えます。今後夢に向かって、活動を通して多くの事を吸収し、素敵な保育者になれるよう学生一同、努めていきます。



イベントスケジュール

2014 4月



2日 大学「人文」
在学生・留学生
オリエンテーション
健康診断

3日 大学
在学生・総政
オリエンテーション
健康診断

5日 大学&短大
入学式

7日 大学
新入生オリエンテーション
新入生健康診断

短大
新入生オリエンテーション
健康診断

9日 大学
サークル紹介
新入生学外オリエンテーション

16日 大学
不登校・多動性・情緒障害
フロッギング
佐々木則夫氏 講演会

18-19日 短大
新入生学外オリエンテーション

23日 短大
フロッギング
第2回フロッギングの現況

26日 短大
スポーツ大会

2014 5月



10日 先輩教師の講話会

17日 大学&短大
サタデーキャンパス

31日 第1回就職ガイダンス



編集後記

25年度卒業生346名を送り出しました。社会に向け巣立っていく若者の姿は随分と頼もしくなりました。そして26年度429名の新入生を迎え、春爛漫の大学・短大です。お蔭様で入学者数は昨年度に比べて15%近く増えました。少子化の流れの中で、本当にありがたいことです。教職員一同、身の引き締まる思いです。

2年度目に入る「燦KIRARI」を、よろしくお願い申し上げます。これからも「作新学院大学・同短大の今」をお知らせできるよう、スタッフ一同、張り切っています。

勘違いの敬語

〇〇会社のAさんは、課長が外出先から帰社した際に、課長に「苦勞様でした」と言いました。
Aさんは、課長に「なんと云われたのでしょうか？」